

2011 年 11 月 11 日

## 工事施工に関する労務安全・衛生誓約書

事業所の名称 (仮称)	工事	所在地	山田株式会社
	作業所	会社名	代表取締役 山田 太郎
所長名 岡山 太郎	殿	代表者	

社 印

貴社のご発注にかかる上記工事施工にあたり、労働基準法、労働安全衛生法、その他関係法令に定められた、すべての義務ならびに貴社で定める安全衛生規律の基準を誠実に守り、貴社の労務・安全衛生に関する指示、指導に従うほか、特に労務・安全衛生管理については、下記事項を忠実に遵守することを誓約いたします。

### 記

1. 労務担当者、安全衛生責任者、安全衛生推進者、各種作業主任者、作業指揮者等を選任し、それぞれに労務・安全衛生に関する措置をなし得る権限を与えるとともに、おのこの任務を明確にして現場に常駐させ、その職務を全うさせます。
2. 所定の免許または資格を要する業務については、必ずその資格を有する作業員を任命し免許証等を貴社に提出してその確認を受けた後でなければ就業させません。なお、女子及び満18才未満の作業員を使用するに当たっては、法令に定める就業制限業務には絶対につかせません。
3. 雇入れ時、作業変更時における教育や、その他安全衛生に関する教育等については当方でも責任をもって実施し、その他安全衛生に関する教育等については当方で責任をもって実施し、その実施にあたっては記録を保存し貴社に報告します。また、貴社で行なう労務・安全衛生に関する教育および行事に係る作業員を進んで参加させるなど、貴社の労務・安全衛生管理に関する措置に従います。
4. 関係法令に定められた行政官庁への提出書類は延滞なく提出し、また備え付書類についても漏れなく整備いたします。
5. 当方持込の機械器具については、法令で定めた構造規格を保持し安全性を確認したものを使用します。また、持込時には、「持込使用届」を提出するとともに貴社の確認をうけ、「持込機械届受理証」を受領します。
6. 持込の機械器具はもとより貴社貸与のものについても、使用中は確実に点検・整備を実施し、貴社が要求するときはいつでもその記録を呈示いたします。
7. 作業所及び宿舍の規律については、所属労働者の風紀を取締り労働者相互間はもとより地元の住民等第三者に迷惑を及ぼし、または紛争を生じないよう秩序の維持につとめます。これに違反するもの及び貴社の指示、指導に従わない物があるときは現場入場の禁止または寄宿舍より退舎させる等の措置を講じます。
8. 作業所及び寄宿舍の管理については、整理整頓、火気の取扱い等の責任者を指名して厳重に管理し常に清掃等につとめ労働及び生活環境を整備いたします。
9. 法または、貴社で保護帽、安全帯、その他保護具を使用することが定められている作業については、関係労働者に確実に使用させます。
10. 「建設業法、雇用改善法等に基づく届出書(変更届)」により届出された再下請協力業者を使用するときは、その者に前項1～9項に規定する措置を行なわせ、その実施状況を確認します。
11. 万一当方の責により事故、災害が発生したときは労働基準法、労働安全衛生法、その他関係法令に定める使用者としての責任は勿論一切の責任を負い、貴社に対しいささかもご迷惑をおかけいたしません。

以上

順番にして、グレーの枠内でとめてください。

2011 年 11 月 11 日

## 外国人就労に関する誓約書

事業所の名称 (仮称)	工事	一次会社名	山田株式会社
	作業所	協力会社名 ( 2 次 )	株式会社 山下組
所長名	岡山 太郎 殿	現場責任者名	山下 良男

印

貴社の工事を施工するにあたり、下記の事項を遵守することを誓約します。

### 記

1. 当工事において外国人の不法就労者を絶対使用いたしません。
2. 合法的に就労できる外国人を入場させる場合には、事前にお届けし貴社の許可をいただきます。
3. 当社が請負った工事契約に係わる関係請負人会社の外国人就労について、遵守すべき事項を確実に監督・指導し、貴社に迷惑をおかけいたしません。

なお、関係請負人会社は、全て同様の誓約書を提出いたします。

以 上

**記入例**

2011 年 11 月 18 日

**建設業法・雇用改善法等に基づく届出書(変更届)**

(再下請負通知書様式)

三次は二次に、二次は一次に、一次は元請けにとそれぞれが上位の業者に順次再下請負通知書を提出する。(記載例は、二次から一次の場合)

直近上位  
注文者名 **中村建設株式会社** (報告下請負業者)  
〒 000-0000

現場代理人名 **岡山 太郎** 殿 住所 **岡山県岡山市 780-123**  
(所長名)

TEL **0800-00-0123**  
FAX **0800-00-0124**

元請名称	(仮称) <b>工事</b>	作業所	会社名 <b>山田株式会社</b>
------	----------------	-----	-------------------

**社印**

(自社に関する事項)

代表者名 **山田 太郎**

工事名称	(仮称) <b>工事</b>	工事内容	<b>型枠</b> 工事
工期	自 <b>2011 年 11 月 15 日</b> 至 <b>2011 年 12 月 20 日</b>	注文者との契約日	<b>2011 年 11 月 10 日</b>

建設業の許可	施工に必要な許可業種	許可番号	許可(更新)年月日
	<b>大工</b> 工事業	大臣 特定 <b>知事</b> 一般 <b>8 第 1234 号</b>	<b>2008 年 1 月 10 日</b>

本欄の監督員は、契約関係をもとに施工体制台帳に関する指導を行う者を記載する。

監督員名	<b>小林 誠</b>	安全衛生責任者名	<b>間島 健児</b>
権限及び意見申出方法	口頭及び文書による	安全衛生推進者名	<b>香山 一郎</b>
現場代理人名	<b>間島 健児</b>	雇用管理責任者名	<b>総務部長 青木 雅二</b>
権限及び意見申出方法	口頭及び文書による	専門技術者名	
主任技術者	<b>専任</b> <b>間島 健児</b> 非専任	資格内容	
資格内容	<b>建設業法「技術検定」 2級建築施工管理技士</b>	担当工事内容	

- (記入要領)
- 報告下請負業者は直近上位の注文者に提出すること。(提出の際は、複写の分を自社控えとして下さい。)
  - 再下請負契約がある場合は(再下請負契約関係)欄(当用紙の右部分)を記入するとともに、次の契約書類(金額の記載は不要)の写しを提出する。なお、再下請が複数ある場合は、(再下請負契約関係)らんをコピーして使用する。契約書、注文書・請書等 下請基本契約書
  - 一次下請負業者は、二次下請負業者以下の業者から提出された書類とともに様式1-乙に準じ下請負業者編成表を作成の上、元請に届出ること。
  - この届出事項に変更があった場合は直ちに再提出すること。

(再下請負関係)

再下請負業者及び再下請負契約関係について次の通り報告いたします。

会社名	<b>株式会社 山下組</b>	代表者名	<b>山下 一夫</b>
住所	〒 <b>123-0890</b> <b>岡山県岡山市 -1-1-2</b>		
電話番号	( <b>0800-0000-4567</b> )		
工事名称及び工事内容	<b>(仮称) 工事 型枠工事(地下部分)</b>		
工期	自 <b>2011 年 11 月 20 日</b> 至 <b>2011 年 12 月 20 日</b>	契約日	<b>2011 年 11 月 16 日</b>

**社印**

建設業の許可	施工に必要な許可業種	許可番号	許可(更新)年月日
	<b>大工</b> 工事業	大臣 特定 <b>知事</b> 一般 <b>5 第 5215 号</b>	<b>2007 年 6 月 8 日</b>
	工事業	大臣 特定 第 号	年 月 日

現場代理人名	<b>山下 良男</b>
権限及び意見申出方法	<b>口頭及び文書による</b>
主任技術者	<b>専任</b> <b>山下 良男</b> 非専任
資格内容	<b>高校卒(建築学科) 5年以上の実務経験</b>

安全衛生責任者名	<b>山下 良男</b>
安全衛生推進者名	
雇用管理責任者名	<b>専務 山下 花子</b>
専門技術者名	
資格内容	
担当工事内容	

[主任技術者、専門技術者の記入要綱]

- 主任技術者の配属状況について「専任・非専任」のいずれかに 印を付すこと。
  - 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等で、その工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。(一式工事の主任技術者が、専門工事の主任技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)
- 複数の専門工事を施工するために、複数の専門技術者を要する場合は、適宜欄を設けて全員を記載する。

- 主任技術者の資格内容「該当するものを選んで記入する」

経験年数による場合

- 1) 大学卒「指定学科」3年以上の実務経験
- 2) 高校卒「指定学科」5年以上の実務経験
- 3) その他 10年以上の実務経験

資格等による場合

- 1) 建設業法「技術検定合格証明書」
- 2) 建築士法「建築士免許証」
- 3) 技術士法「技術士登録証」
- 4) 電気工事士法「電気工事士免状」
- 5) 電気事業法「電気主任技術者免状」
- 6) 消防法「消防設備士免状」
- 7) 職業能力開発促進法「技能検定合格証書」

**記入例**

2011 年 11 月 18 日

**下請負業者編成表**

(一次下請負業者 = 作成下請負業者)

一次下請負業者は二次以下の会社名等を記入し、契約の流れを実線で明確に示すこと。

型 枠	安全衛生責任者	間島 健児
	主任技術者	間島 健児
	専門技術者	
	工事	担当工事内容
工期	2011 年 11 月 15 日 ~ 2011 年 12 月 20 日	

(二次下請負業者)		(二次下請負業者)		(二次下請負業者)		
型 枠	会社名	株式会社 山下組	会社名		会社名	
	安全衛生責任者	山下 良男	安全衛生責任者		安全衛生責任者	
	主任技術者	山下 良男	主任技術者		主任技術者	
	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容
工期	2011 年 11 月 20 日 ~ 2011 年 12 月 20 日		工期	年 月 日 ~ 年 月 日	工期	年 月 日 ~ 年 月 日

(三次下請負業者)		(三次下請負業者)		(三次下請負業者)	
工 事	会社名		会社名		会社名
	安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者
	主任技術者		主任技術者		主任技術者
	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事
工期	年 月 日 ~ 年 月 日	工期	年 月 日 ~ 年 月 日	工期	年 月 日 ~ 年 月 日

(四次下請負業者)		(四次下請負業者)		(四次下請負業者)	
工 事	会社名		会社名		会社名
	安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者
	主任技術者		主任技術者		主任技術者
	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事
工期	年 月 日 ~ 年 月 日	工期	年 月 日 ~ 年 月 日	工期	年 月 日 ~ 年 月 日

(記入要領)

- 1 一次下請負業者は、二次下請負業者以下の業者から提出された「届出書」(様式1号 - 甲)に基づいて本表を作成の上、元請に提出すること。
- 2 この下請負業者編成表でまとめきれない場合には、本様式をコピーするなどして適宜使用すること。

**記入例**

# 作業員名簿

元請確認欄

事業所の名称 (仮称) **工事** 作業所  
 所長名 **岡山 太郎** 殿

( 2011 年 11 月 13 日 作成 )

作業員を雇用する会社が作成し、1次の会社を通じて元請に提出すること。

2011 年 11 月 18 日

会社名 **山田株式会社**

**社印**

番号	ふりがな		職種	雇用年月日	生年月日	現住所 (TEL)		最近の健康診断日	血液型	特殊健康診断日	教育・資格・免許			入場年月日
	氏名	職名				経験年数	年齢				家族連絡先 (TEL)	血圧	種類	雇入・職長特別教育
1	まじま けんじ		大工	現職安技	S00年6月10日	S00年4月20日	岡山県岡山市 1350 (0800-00-0000)	H23年5月10日	A	年月日	雇入時教育 職長教育	玉掛	なし	H23年11月15日
	間島 健児				35年	歳	岡山県岡山市 1350 (0800-00-0000)	116 ~ 79						H23年12月20日
2	まじま いちろう		型枠大工	主	S00年9月15日	S00年3月20日	岡山県岡山市 1235 (0800-00-0001)	H23年5月10日	B	年月日	雇入時教育 職長教育	型枠支保工の 組立て 等作業主任者	なし	H23年11月15日
	間島 一郎				31年	歳	岡山県岡山市 1235 (0800-00-0001)	156 ~ 90						H23年12月20日
3	まじま じろう		オペレーター		S00年9月15日	S00年12月7日	岡山県岡山市 1350 (0800-00-0002)	H23年5月10日	O	年月日	雇入時教育 建設用リフト	なし	クレーン運転士	H23年11月15日
	間島 次郎				25年	歳	岡山県岡山市 1350 (0800-00-0002)	125 ~ 80						H23年12月20日
					年月日	年月日	( )	年月日		年月日				年月日
					年	歳	( )	~						年月日
					年月日	年月日	( )	年月日		年月日				年月日
					年	歳	( )	~						年月日
					年月日	年月日	( )	年月日		年月日				年月日
					年	歳	( )	~						年月日
					年月日	年月日	( )	年月日		年月日				年月日
					年	歳	( )	~						年月日
					年月日	年月日	( )	年月日		年月日				年月日
					年	歳	( )	~						年月日

(注) 1 . 印欄には次の記号を入れる。

- ⓪ ... 職長
- Ⓜ ... 18歳未満の者
- Ⓢ ... 作業主任者(正副2名選出すること)

- 2 . 経験年数は現在の仕事としての経験年数を記入する。
- 3 . 各社別に作成するのが原則ですが、リース機械等の運転者は一緒でもよい。
- 4 . 資格・免許等の写しを添付すること。

**記入例**

**就業資格証書台帳**

会 社 名			入 場 者 名 簿	
山田株式会社			1	
ふりがな	まじま けんじ		生年月日	S 年 4 月 20 日
氏 名	間島 健児		T・S・H	
資格・技能講習名				
1	玉掛け技能講習			
2	職長・安全衛生責任者教育修了証 (危険性又は有害性等の調査とその低減措置を含む教育)			
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

上記に、資格・技能講習名を記入後、該当する証書のコピーを添付してください。

元 請 確 認 欄

2011 年 11 月 11 日

## 未成年者就業許可願い

事業所  
の名称 (仮称)

工事

作業所

雇用会社名

山田株式会社  
代表取締役  
山田 太郎

社 印

所長名 岡山 太郎

殿

雇用責任者名 山田 慎一

貴社の工事を施工するにあたり、下記の年少者の現場入場・就業許可をお願いします。

### 【現場入場年少者】

氏 名	静岡 誠一
生年月日	年 11 月 11 日 満 才 ヶ月
血液型	B 型
緊急連絡先	住 所 〒 000-0000 岡山県岡山市北区
	緊急時連絡 相手の名前 静岡 祐一
	電話番号 0000-00-0000

### 【親権者承諾】

上記、年少者	氏 名 静岡 誠一	の就業を認めます。
親権者連絡先	住 所 〒 000-0000 岡山県岡山市北区	
	名 前 静岡 祐一	印
	電話番号 0000-00-0000	

上記の親権者承諾の箇所は全て、直筆でなければ認められません。

**記入例**

受 理 番 号	元 請 確 認 欄

2011 年 11 月 20 日

**持込機械等(移動式クレーン・車両系建設機械等)使用届**

事業所の名称 (仮称)	工事	作業所	一次会社名	山田株式会社
			持込会社名 ( 2 次 )	株式会社 山下組
所長名	岡山 太郎	殿	代表者名 もしくは、 現場責任者名	山下 良男
			電 話	0866-00-0000



このたび、下記機械等を別紙の点検表により、点検整備の上持込・使用しますので、お届けします。なお、使用に際しては関係法に定められた事項を遵守します。

使用会社名			代表者名もしくは、現場責任者名			
山田株式会社			山下 良男			
機 械	名 称	メーカー	規 格 ・ 性 能	製 造 年	管理番号 (整理番号)	
	トラッククレーン	港区建設(株)	20トン×3m	59 年	101	
持込年月日	H23 年 11 月 25 日	使用場所	土止めくい打ち現場	自社・リースの区別		
搬出予定年月日	H23 年 12 月 20 日			自社	リース	
氏 名		資格の種類				
者 (正)	山下 三郎	大型1種、移動式クレーンの免許、基礎工事技能講習				
	山下 四郎	大型1種、移動式クレーンの免許				
自主 有効 定期 検査 期限	年次	H23 年 5 月 6 日	移動式クレーン等の 性能検査有効期限	自動車検 査証有効 期 限	H23 年 12 月 30 日	
	月次	H23 年 4 月 5 日				
	特定	年 月 日				
任 意 保 険	加入額	対人	100,000 千円	搭乗者	10,000 千円	有効期限
		対物	3,000 千円	その他	1,000 千円	H24 年 2 月 3 日
車両系建設機械 フォーク リフト等 について 記入。		パイプロ使用の場合は、くいの重量、パイプロの重量及びパイプロの起振力などを 考慮して作業半径を決めて下さい。				

記入例

持込機械点検表

所有会社名				代表者名もしくは、出庫責任者名				機 械 名								
品川リース				品川次郎 印				1 クレーン 2 移動式クレーン 3 デリック 4 エレベータ 5 建設用リフト 6 高所作業車 7 ゴンドラ 8 ブル・ドーザー 9 モーター・グレーダー 10 トラクターショベル 11 ずり積機 12 スクレーパー 13 スクレーブ・ドーザー 14 パワー・ショベル 15 ドラグ・ショベル (油圧ショベル) 16 ドラグイン 17 クラムシェル 18 バケット掘削機 19 トレンチャー 20 コンクリート圧砕機 21 くい打機 22 くい抜機 23 アース・ドリル 24 リバース・サーキュレーション・ドリル 25 せん孔機 26 アース・オーガ 27 ベーバードレインマシン 28 地下連続壁施工機械 29 ローラー 30 クローラドリル 31 ドリルジャンボ 32 ロードヘッダー 33 アスファルトフィニッシャー 34 スタビライザー 35 ロードブレーナ 36 ロードカッター 37 コンクリート吹付機 38 ボーリングマシン 39 重ダンブトラック 40 ダンブトラック 41 トラックミキサー 42 散水車 43 不整地運搬車 44 コンクリートポンプ車 45 その他								
【移動式クレーン等】				【車両系建設機械等】												
点 検 事 項		点検結果		点 検 事 項		点検結果										
		(a)	(b)			(a)	(b)									
A ク レ ー ン 部  (上部旋回体)	安全装置	巻過防止装置	▶	▶	D 安 全 装 置	各 種 ロ ック	旋回			E 作 業 装 置	バケット					
		過負荷防止装置	▶	▶			ブーム・アーム				バケット・ブレード					
		フックのはずれ止め	▶	▶					ブーム・アーム				ブーム・アーム			
		起伏制御装置	▶	▶					ジブ				ジブ			
		旋回警報装置	▶	▶					リーダ				リーダ			
	制御装置・作業装置	主巻・補巻	▶	▶	E 作 業 装 置	警報装置	アラーム				ハンマ・オーガ・ハブロ			ハンマ・オーガ・ハブロ		
		起伏・旋回	▶	▶			アラーム				油圧駆動装置			油圧駆動装置		
		クラッチ	▶	▶			アラーム				ワイロープ・チェーン			ワイロープ・チェーン		
		ブレーキ・ロック	▶	▶			アラーム				照明			照明		
		ジブ	▶	▶			アラーム				操作装置			操作装置		
	その他	滑車	▶	▶	F 走 行 部	作 業 装 置	ワイロープ・チェーン				ブレーキ			ブレーキ		
		フック・バケット	▶	▶			ワイロープ・チェーン				駐車ブレーキ			ブレーキロック		
		ワイロープ・チェーン	▶	▶			ワイロープ・チェーン				クラッチ			クラッチ		
		玉掛用具	▶	▶			ワイロープ・チェーン				操縦装置			操縦装置		
その他		▶	▶	ワイロープ・チェーン					タイヤ・鉄輪			タイヤ・鉄輪				
B 車 両 部  (下部走行体)	走行部	ブレーキ	▶	▶	G 電 気 装 置	H そ の 他	ワイロープ・チェーン			配電盤			ワイロープ・チェーン			
		クラッチ	▶	▶			ワイロープ・チェーン			配線			ワイロープ・チェーン			
		ハンドル	▶	▶			ワイロープ・チェーン			絶縁			ワイロープ・チェーン			
	安全装置等	タイヤ	▶	▶			ワイロープ・チェーン			アース			ワイロープ・チェーン			
		クローラ	▶	▶			ワイロープ・チェーン						ワイロープ・チェーン			
		警報装置	▶	▶			ワイロープ・チェーン						ワイロープ・チェーン			
		各種ミラー	▶	▶			ワイロープ・チェーン						ワイロープ・チェーン			
		方向指示器	▶	▶			ワイロープ・チェーン						ワイロープ・チェーン			
C ゴ ン ド ラ	前後照灯	▶	▶	ワイロープ・チェーン						ワイロープ・チェーン						
	左折プロテクター	▶	▶	ワイロープ・チェーン						ワイロープ・チェーン						
	アウトリガ	▶	▶	ワイロープ・チェーン						ワイロープ・チェーン						
	昇降装置			ワイロープ・チェーン						ワイロープ・チェーン						
(a)	点検日	年 月 日	点検者	品川	(b)	点検日	年 月 日	点検者	山下							
		H23.8.10					H23.10.10									

(注)

- 持込機械等の届け出は、当該機械を持ち込む会社(貸与を受けた会社が下請の場合いはその会社)の代表者が所長に届け出ること。
- 点検表の点検結果欄には、該当する箇所へ「印」を記入すること。
- 自社の点検表にて点検したものは、その点検表を貼付する(転記の必要はなし)。
- 機械名1から6まではA、B欄を、7はC欄を、8から38まではD、E、F、G欄を、39から43まではB欄を、44はB、D、E欄を使用して点検すること。
- 点検結果の(a)は、機械所有会社の確認欄とし、(b)は持込会社又は機械使用会社の確認欄とする。元請が確認するときは、(b)の欄を利用すること。

記入例

元請確認欄

2011年11月12日

## 持込機械等(電動工具・電気溶接機等)使用届

事業所の名称 (仮称)

工事

作業所

一次会社名 大山建設(株)

持込会社名 (2次) 山田工務店

所長名 岡山 太郎

殿

現場責任者名 山田 三郎

印

電気機器は電圧も記入。

電話 0806-22-0000

このたび、下記機械等を点検整備し良好な状態で現場へ、持込・使用しますので、お届けします。なお、使用に際しては関係法に定められた事項を遵守します。

番号	機械名	規格性能	持込年月日	点検者	取扱者
1	電動丸のこ	100V × 450W	2011年10月22日	山田四郎	千葉一郎
2	アーク溶接機	100V × 7.5kW 250A	2011年10月22日	同上	千葉二郎
3	ウインチ	100V × 750W 100kg吊り	2011年10月22日	同上	千葉三郎
4	コンプレッサー	200V × 3.7kW	2011年10月22日	同上	千葉四郎
5	水中ポンプ	100V × 400W 50 × 10m	2011年10月22日	同上	千葉五郎
6	モルタルミキサー	200V × 3.7kW	2011年10月22日	同上	千葉六郎
7	ベルトコンベヤー	200V × 1.0kW 350mm × 7m	2011年10月22日	同上	千葉七郎
8	ボーリングマシン	200V × 7.5kW	2011年10月22日	同上	千葉八郎
9	鉄筋曲げ機	200V × 2.2kW ~ 22mm	2011年10月22日	同上	千葉九郎
10	電動チェーンブロック	100V × 750W 0.5トン吊り	2011年10月22日	同上	千葉十郎

上記の持込機械において、該当する点検事項が全て良好の機械のみ現場へ持込使用する事とする。

### 【点検事項】

アース線、接地クランプ、キャップタイヤ、コネクタ、接地端子の締結、充電部の絶縁、自動電撃防止装置、絶縁ホルダー、溶接保護面、操作スイッチ、各種ブレーキの作動、フックのはずれ止め、ワイヤーロープ・チェーン、滑車、回転部の囲い等、危険表示

記入例

元請確認欄

2011 年 11 月 20 日

## 工 事 用 車 両 届

事業所の名称 (仮称)

工事

作業所

一次会社名 大山建設(株)

使用会社名  
( 2 次) 榊山田工務店

所長名 岡山 太郎

殿

現場責任者名 山田 三郎

印

下記の通り車両を運行しますので、お届けいたします。

使用期間	2011 年 7 月 12 日 ~ 2011 年 10 月 12 日					
所有者氏名	社有車	安全運転管理者氏名	角田 昭男			
車両	型式	小型トラック(2t)	車両番号	岡山な		
	車検期間	2011 年 6 月 21 日 ~ 2012 年 6 月 20 日				
運転者	氏名	渡邊 悦郎	生年月日	1978/6/5		
	住所	岡山県 市 2152				
	免許の種類	普通免許	免許番号	305881445601		
自賠償	保険会社名	自動火災保険(株)	証券番号	0-69640		
	保険期間	2011 年 2 月 5 日 ~ 2012 年 2 月 4 日				
任意保険	保険会社名	第5火災海上保険(株)	証券番号	4857580		
	対人	10,000 万円	対物	300 万円	搭乗者	1,000 万円
	保険期間	2011 年 2 月 5 日 ~ 2012 年 2 月 4 日				
運行経路	会社(岡山市) ~ (仮称) 工事作業所					

- (注) 1. この届出書は車両1台ごとに提出すること。  
2. この届出書に「任意保険」の証書(写し)を添付し提出すること。  
3. マイクロバス等についても記載すること。  
4. 運転者が変わった場合はその都度届出ること。

2011 年 10 月 1 日

## 危険物・有害物持込使用届

事業所  
の名称 (仮称)

工事

作業所

一次会社名 大山建設(株)

使用会社名  
( 2 次 ) 榊山田工務店

所長名 岡山 太郎

殿

現場責任者名 山田 三郎

印

このたび、下記の危険物・有害物を持込み使用するのでお届けします。なお、使用に際しては関係法規に定められた事項を遵守するとともに、盗難防止に努めます。

	商品名	メーカー名	搬入量	種別	含有成分
使用材料	ピニボン100	関西ペイント	30kg	塩ビ塗料	トルエン・キシレン
	同上シンナー	関西ペイント	30kg	シンナー	トルエン・キシレン
	コボンPR塗料液	日本ペイント	20kg	エポキシ塗料	トルエン・MIBK
使用場所	(災害又は、健康障害の発生しやすい場所は必ず記入する。) 倉庫(B1F)及び(1F)塗装工事				
保管場所	B1F塗料仮置き場		使用機械又は工具	ハケ塗り又はローラー塗り	
使用期間	2011 年 10 月 5 日 ~ 2011 年 11 月 2 日迄(予定)				
作業主任者	(屋内作業時、タンク等で許容消費量の有機溶剤を取り扱う作業又は特定化学物質等を取り扱う作業は、技能講習修了者) 山田 三郎				
危険物取扱責任者	(消防法で決められた量以上を貯蔵する場合は、危険物取扱の免許取得者)				
換気方法・集類	(主なものを記入する。) 塗装作業開始から乾燥するまで、送風機にて排気します。(エポキシ塗料の場合)				
備考	(防毒マスクなどの使用又は、他の職種に関係ある事項などを記入する。)				

- (注) 1. 商品名、種別、含有成分等は材料に添付されているラベル成分表等から写し、記入してください。  
2. 危険物とは、ガソリン、軽油、灯油、プロパン、アセチレンガス等をいう。  
3. 有害物とは、塗装、防水などに使用する有機溶剤、特定化学物質等をいう。

記入例

元請確認欄

2011 年 10 月 9 日

## 火気使用願

事業所の名称 (仮称)

工事

作業所

一次会社名 大山建設(株)

使用会社名 ( 2 次) 株式会社山田工務店

所長名 岡山 太郎

殿

現場責任者名 山田 三郎

印

下記の要領で火気を使用したく許可願います。なお、火気使用の終了時には、必ずその旨報告致します。

使用場所	屋上の手摺り取付け		
使用目的	溶接、溶断、圧接、防水、乾燥、採暖、	使用期間	10 月 10 日 ~ 10 月 11 日
	湯沸、炊事、その他( )	使用期間 (原則)	8 時 30 分 ~ 17 時 00 分
火気の種類	電気、ガス、灯油、重油、木炭、薪、その他( )		
管理方法	消火器、防火用水、消化砂、防災シート、受皿、標識、監視、		
	取扱上の注意( )		
火元責任者 (後始末巡回者)	小松 一三		
火気使用責任者	中山 正		

使用目的、火気の種類、管理方法は該当事項を で囲んで下さい。

下記の欄は、元請記入欄であり協力会社は記入不要です。

許可第 1 号	(許可年月日)	2011 年 10 月 9 日
火気使用許可	防火管理者	印
	担当係員	印
許可条件	作業場所には、消火器を配置すること。 作業終了後は火がないことを確認すること。	